

「自立運転」と「連系運転」の切替方法

パワーコンディショナ (SB4500TL-JP-22)

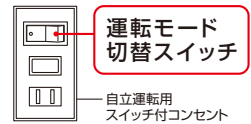
太陽光発電システムが発電している時に、災害等による停電が発生した場合、太陽光発電システムの運転は自動的に停止します。その際はお客様ご自身が手で、パワーコンディショナを「自立運転」に切り替えることにより、ご自宅の太陽光発電システムで発電した電力を最大1,500Wまでをご利用いただくことができます。

自立運転機能を利用するためには、予め自立運転用スイッチ付コンセントの工事が必要です。くわしくは、販売店にお問い合わせください。

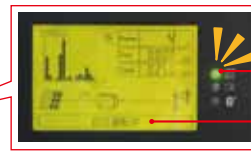
停電が起きた時の「自立運転」への切替方法

①ご自宅内にある太陽光発電用ブレーカを「OFF」にしてください。

②運転モード切替スイッチを「ON」にしてください。
(自立運転モードになります。)
*スイッチやランプの形状は異なることがあります。



③LEDインジケータ(緑)が点滅し、「自立運転中」のメッセージが表示されます。



LEDインジケータ

自立運転中

④自立運転コンセントランプが点灯しているのを確認してください。



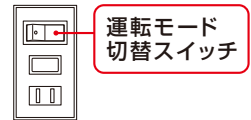
⑤自立運転用コンセントに安全の注意事項を守りプラグをさしてください。
*予め自立運転用コンセントの工事が必要です。
*天候や日射量によっては発電量に応じて使用可能な電力は変動します。



停電が解消した時の「連系運転」への切替方法

①自立運転用コンセントから安全の注意事項を守りプラグを抜いてください。

②運転モード切替スイッチを「OFF」にしてください。
(連系運転モードになります。)



③LEDインジケータ(緑)が点滅しているのを確認してください。



LEDインジケータ

系統電圧を待機

④ご自宅内にある太陽光発電用ブレーカを「ON」にしてください。

⑤数分後に連系運転が始まり、LEDインジケータ(緑)が点灯します。

*天候や日射量によっては、発電が不安定になり、自立運転用コンセントの電圧出力が変化する場合があります。次の機器を自立運転用コンセントに接続しないでください。すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器、パソコン・ワープロなどの情報機器、その他、接続した機器が停止すると生命や財産に損害を及ぼすもの。*自立運転に切り替える前に必ず太陽光発電ブレーカを「OFF」にしてください。万一の場合、感電や火災が起こる恐れがあります。*夜間や、日中でも日射量の少ないときはご利用いただけません。*コンセントプラグは自立運転用コンセントへ確実に接続してください。また、濡れた手で自立運転用コンセントを抜き差ししないでください。万一の場合、感電や火災が起こる恐れがあります。*自立運転用コンセントに機器を接続したままにしないでください。自立運転用コンセントに接続した機器が突然動作して感電や火災や機器故障が起こる恐れがあります。*自立運転用コンセントを他の家庭内のコンセントと接続したり、コンセントプラグ以外を挿入したりしないでください。*負荷が1500W(15A)以上になる場合、または掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用する場合に保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。停止した場合は、以下手順を行ってください。(但しシステムに損傷がない場合に限りです。)*①運転モード切替スイッチを「OFF」にしてください。②自立運転用コンセントに接続している電気製品を減らしてください。③運転モード切替スイッチを再度「ON」にしてください。*パワーコンディショナを複数台使用している場合、自立運転させたいパワーコンディショナの太陽光発電ブレーカを「OFF」にし、自立運転に切り替えてください。●パワーコンディショナの前面にあるディスプレイ内の数値及びグラフは一例です。

お客様ご自身で本説明書に従っても設定できない時や、自立運転していない場合、もしくは、連系運転していない場合は、お買い求めの販売店もしくは弊社ご相談センターまでご相談ください。

東芝住宅用太陽光発電システム ご相談センター (受付時間) 9:00~17:00 (祝日、年末年始を除く)

個人・法人のお客様窓口

【固定電話の場合】

0120-402743

0120 なしさ

【携帯電話・PHS・IP電話の場合】

03-5352-7657 (通話料: 有料)

販売店様・施工店様他の窓口

03-5352-7623 (通話料: 有料)